

タウンミーティング開催結果要旨

調布市基本計画の時点修正に向けた市民との意見交換の場として3日間にわたりタウンミーティングを開催しました。

開催に当たっては、新たな取組として、事前は無作為抽出した16歳以上の1,000人の方に御案内を送付しました。また、参加できない方も、事前に意見が提出できるように、返信はがきに意見記載欄を設け、意見の把握に努めました。

タウンミーティング当日は、会の前半に調布市修正基本計画検討案の全体説明及び質疑応答を行った後、大きく3つのテーマを中心としたグループに分かれての意見交換を行いました。

つきましては、主な意見の概要をお知らせします。

1 日時・会場・参加者数

	日時	会場	参加者数
第1回	平成26年10月31日（金） 午後7時～午後9時	教育会館3階 研修室	12人
第2回	平成26年11月1日（土） 午後1時30分～午後3時30分	教育会館3階 研修室	11人
第3回	平成26年11月4日（火） 午後7時～午後9時	市民プラザあくろす 3階あくろすホール	12人
		合計	35人

2 主な意見の要旨

【防災・コミュニティ】

●防災・防犯・地域コミュニティの横断的な課題

○防災，防犯，地域コミュニティはそれぞれ密接に関わっていることなので一体として考えていった方がいいのではないか



<修正基本計画検討案概要説明の様子>

●防災，防犯のきっかけづくり

- 防災，防犯について，きっかけが大事。運動会など，普段の防災訓練に参加されない方でも参加しやすい場で避難訓練を入れ込んでみると，よいきっかけづくりになるのではないかな



<意見交換の様子①>

●防災の取組

- マンションが多いので自宅での防災(家具の転倒防止，食品の備蓄)に取り組むべき
- 防災対策は，備えを少しずつレベルアップしていくべきではないか
- 無線は天候に左右されやすく，風が吹けば聞こえなくなる範囲もあるので連絡方法を検討しなければいけない

●避難所について

- 避難所の運営マニュアルを地域ごとで作成しているが，地域ごとに取組状況に差があるのではないかな。住民の認識も心許ない
- 高齢者に配慮し，もっと小さいブロックに分けて，行きやすい施設を避難所にしてはどうか
- 避難所自体が被災したときの対応も重要

●災害時の対応について

- 交通基盤の強化の取り組むべきではないか
- 地域防災計画や有事の際の避難所運営に女性が参加しやすい仕組みをつくるべき
- 有事の際のシミュレーション・トレーニングの機会と参加者を増やしていく必要性を訴えていくべき
- 要配慮者への支援に地域と市で協働して取り組むべき

●市と市民の役割の明確化

- 週末や夜間といった市役所が休みの時の緊急連絡体制の構築が必要
- 自助，共助，公助の範囲を明確にして，市民が自らやらなければいけない範囲を示し，マニュアルを作成する必要がある(弱者への配慮や多様な生活スタイルへの配慮も必要)

●防犯

- 市民が動く仕組みづくりを行い，安全安心は市だけに頼ってもつくることのできないので，むしろに市民に市が頼ってほしい

●地域コミュニティ

- 駅前の緑化や清掃にも市民の力を活用して，市はもっと他のことに予算を使うべき
- 地域参加に対するメリットが必要。行政参加ポイント，地域貢献ポイントのようなものを活用して，施設利用で優遇を受けられる仕組みがあってもよいのではないかな
- スターターとサポーター両方の立場を支援する取組が重要

- 賃貸マンションに住む人は地域のつながりが少ないので防災活動に参加しづらい(声がけもしにくい)

●自治体活動の活性化

- 若い人を取り込むためには、参加のハードルを下げることや、一人ひとりとコミュニケーションをとるなど、参加のきっかけづくりを地道にすることが必要

【福祉，子育て，学校教育】

●福祉人材の育成

- 福祉に関わる地域団体の後継者が育たない
- 福祉に関わる活動を生かす場づくりが重要
- ボランティアの育成，福祉人材同士の交流のほか，専門職員の能力をいかに伸ばしていくかといった部分を行政として力を入れるべき
- 元気な高齢者が福祉の支え手として有償ボランティアとして活動すると，収入にもなり，市税としても還元される可能性もあるのではないか
- 民間団体など，行政だけでなく，福祉に関わる一般企業にも福祉を担う人材の重要性を広めていくべき
- 福祉活動に携わるきっかけづくり，コーディネートする仕組みづくりを幅広く展開してはどうか



<意見交換の様子②>

●生涯学習活動との連携

- 生涯学習で人材育成を行っているので，そこで育った人材や学んだ知識を地域に還元する意識づけや仕組みづくりを行うべき

●高齢者施策

- 元気な高齢者がまだ多くいる。高齢者同士の助け合いを支援し，また，交流を図る施策を打てないか
- 高齢者が市の施策，事業に参画して，これまでの経験を生かしていただいているかどうか
- 市民の方と市が高齢者施策について意識を共有すべき。目指す方向性，行政の施策と高齢者の意識をすり合わせる必要がある

●既存の施設の活用

- 建て替えを前提としなくとも，既存の資源である空き部屋や空家を活用して，コミュニティスペースをつくってはどうか
- 高齢化が進む団地のような場所であっても，そういった空きスペースを活用することで新たなコミュニティスペースをつくれるのではないか(場所を供するような仕組みづくりも必要)

●地域福祉コーディネーター

- 地域福祉コーディネーターについては、さらなる育成，バックアップを市でも積極的に進め，市民と市で一体的に取り組んでいくことが必要

●福祉の活動拠点

- 福祉の活動拠点について，市の中心部に集中しているのではないかと，もう少し分散し，住んでいる地域の近くにあると活動が活発になるのではないかと

●学校の老朽化対策

- 学校施設の老朽化が課題
- 他の基盤整備も必要だが，避難所にも指定されていること，地域でも活用している施設であることから，学校施設の対策がもっとも大切

●子育て関連の施設について

- 施設が不足しているように感じる
- 市からの情報が十分に行き届いていない
- 雨天時に子どもが集まれる施設がない
- 学童クラブの運営にもっとボランティアの参加を募ってはどうか

●子どもの見守り

- 地域での子どもの見守り活動をもっと充実させてもらいたい。そのためには，市と地域が連携して見守る体制づくりが必要
- 登下校時だけでなく，授業中や校内での見守りにも取り組むべき

●学校でのボランティア活動について

- 学校でボランティアをしている方もいるが，その方たちが継続的に活動できるようにサポート体制をもっと強化してほしい
- ボランティア活動が充実することで学校と地域との連携につながるのではないかと

●道徳教育について

- 家庭ではおぎないきれないので，学校で道徳をしっかり教える必要があり，道徳を教科として教えることのできる教師を充実させてもらいたい
- 教師だけでなく，地域の高齢者を活用する仕組みを導入するなど，対策は幅広く考えてもらいたい

●教師に対する支援について

- 学校は課題が山積しているため，それに対応する教師が大変な状況に置かれている。教師を支援する仕組みづくりも必要。小・中学校間，大学との連携が考えられるのではないかと



<他グループとの意見交換の様子①>

●学校教育・学校施設について

- 学校施設の利活用，ユーフォー，学童クラブに限らず，民間事業者との連携も考えていきたい
- 学校における食育を進めることが必要
- 工場見学や体験学習をもっと取り込んでいく必要があるのではないか
- 図書館や体育館をより利用しやすくする取組を行ってはどうか

【まちづくり・環境】

●道路整備やまちづくりについて

- 都市計画道路整備は進んでいるが，生活道路の整備も進めてほしい
- 地区計画制度を活用したまちづくりが必要
- ハード面の整備のほかにも民間の活力を含んだソフト面でも取組が必要ではないか
- 施設整備において，高齢者の移動距離を分析し，利用しやすさを向上してほしい



<意見交換の様子④>

●景観を含めた調布のまちづくりについて

- 市街地整備では電柱を地下化することで道路の幅員を確保するなど，「緑豊かで空の広い調布」といった景観を含めた調布のまちづくりもしてみてもどうか

●駅前広場，鉄道敷地，中心市街地の整備について

- 中心市街地の賑わいを創出するため，駅前に魅力的な店舗ができるようになるとういのではないか
- 駅前広場の整備に当たっては，市民が憩い，交流できるスペースがあるとにぎわいができるのでは
- 鉄道敷地は，開放的な空間として土地利用をしてほしい
- 観光資源となるようなにぎわいの創出に取り組んではどうか
- 商店街のつながりを活かして，商業施設が連携しながらにぎわいをつくることを検討してはどうか

●交通網の整備について

- 高齢者の社会参加を促進するため，バスルート等の検討には高齢者の行動範囲を分析してはどうか
- バスの交通結節点を改善すべき

●まちの回遊性の向上について

- にぎわい創出のためには，歩行者空間を整備し，回遊性を高める必要がある。そのためにも商店との連携が必要
- 商工会議所などと連携してレンタサイクルを導入すると回遊性が高まるのではないか

- 回遊性という観点では、仙川駅周辺が、歩行空間がよく整備されており、地元と連携したまちづくりができていないのではないか



<他グループとの意見交換の様子②>

●映画のまちの取組

- 昔は付近に俳優さんが撮影に来ていたり、映画と市民が近かった。映画と地域が密着した取組を今後推進してほしい

●オリンピックについて

- 関連した取組が一過性のものにならず、長い視点でみた取組が重要

●大学連携について

- 桐朋学園と連携して音楽に関する事業を行うなど、大学との連携をまちづくりに活かしてはどうか
- オリンピックの際に東京外国語大学と連携した取組をしてはどうか

●地域資源の保全について

- 調布市は水の資源が豊富であることが特徴。
- 地下水や川を大事にしたまちづくり、具体的には仙川と野川の沿道整備といった環境面の整備が重要ではないか
- 地域資源の保全は観光にも連動しており、オリンピックを視野に入れ、深大寺などの主要観光地への交通網の整備や案内の充実に取り組むことが必要

●自然環境について

- 宅地化が進む農地や緑の保全に引き続き取り組んでほしい
- 子どもが自然の中で遊べるようなまちづくりに取り組んでほしい
- 今後宅地化が懸念される場所を予測、分析し、緑、公園を残すための新たな仕組みづくりを検討してはどうか

●エネルギーについて

- エネルギーの地産地消に積極的に取り組んでいくべき
- 燃料電池車など、最近新しくはじまった環境の取組の普及についても、今後を見据えてほしい

●ごみ問題について

- より高い志と目標を持って推進してほしい



<他グループとの意見交換の様子③>

【その他】

●全体を通して

- 重点プロジェクトも限られた財政でやっていかなければならない中で、安全安心について重点的に取り組むべきであるが、財政の収支計画を立てて現実的な市政運営を行ってほしい

●地域ゆかりの建物について

- 調布市内に多くある地域ゆかりの建物の保全に早期から取り組んでほしい

【ハガキで寄せられた意見(抜粋)】

●子育てについて

- 子供たちが健やかに育って我がまち調布の維持・発展に貢献してもらうためには子育て環境の整備が必要不可欠。児童待機数の解消にプライオリティを注いでもらいたい。



<ハガキで寄せられた意見>

●福祉について

- 弱者に対して心配りの出来る暖かいまちづくりにして下さい。
- 自閉症の方が、将来的に働ける作業所やデイサービスなどの増設をご検討いただきたい。
- 歩きタバコ禁止を徹底してください。

●まちづくりについて

- 安全に通行できる歩道の整備をしていただきたい。特に主要道路に隣接する所や危険な所から進めてほしい。
- 調布駅、布田駅周辺の整備を推進してください。
- 自転車の駐輪場を充実させてください。

●環境について

- 調布市の魅力である緑の確保と自然環境との共生、バランスを盛り込んでいただきたい。
- 子供の遊び場所が少なく、特に室内はないので、広い体育館のような場所でボールで遊んだり、逆立ちしたり、ドッチボール、卓球などできるスペースを作って欲しい。
- 環境としては緑と花が多く、広い中で散歩したり、ベンチで休んだり、子供達は安全に走れたり、自転車を子供が乗れるスペースも作って欲しい。
- 武蔵野の緑の復活と花の多いまち、広いくつろぎのスペースのある街にしてほしい。